

言語障害特別支援学級（〇〇学級）自立活動指導案

指導者 〇〇 〇〇

1 単元名 たのしく「かさこじぞう」を読もう

2 目標

- 安心して活動に取り組むことができる。 (自立活動2(3))
- 語彙や文法体系の習得を図ることができる。 (自立活動6(3))
- 昔話を読んでおもしろいところを見つけ、友達に紹介することができる。 (関心・意欲・態度)
- 場面ごとのじいさまとばあさまの様子を思い浮かべながら読むことができる。 (読む)
- 大事な言葉や表現の工夫などに気付き、物語が強く語りかけてきたことを考える手がかりにすることができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

3 指導について

(1) 児童の実態

A児は2年生男子で、中国語を母国語とするため、日常生活に必要な日本語の理解が不十分で一斉指示では行動できないが、コミュニケーションをとろうとする意欲は高い。ひらがなの読み書きは拾い読み程度で、言葉をまとまりとして読むことには支援を要する。数字や順番へのこだわりが強く、待つことが苦手である。体を動かすことを好む。

B児は2年生男子で、連発や難発の吃音があり、随伴症状もある。語彙の意味理解や文字の読み書きは習得しているが、言葉として表出することが苦手である。複数の指示は通りにくく、一斉指示で活動できない時もある。片足のかかとがつかず、運動機能のアンバランスがあるが、歌や手遊び、体を動かすことを好む。

(2) 教材観

本単元の重要指導事項は、学習指導要領におけるC読む(1)オ「文章の内容と自分の経験とを結び付けて、自分の思いや考えをまとめ、発表し合うこと。」およびカ「楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。」である。児童はこれまでに昔話を読んでもらったことはあるが、まだ自分で昔話を読むまでには至っていない。

そこで本単元では「誰が(何が)どうなった」のか、展開のおもしろさを考えながら読むことを学習し、いろいろな昔話にふれ、自分が見つけた昔話のおもしろさを伝えることをねらいとした。自分が好きな昔話を紹介するためには、誰が出てきて、どうなったからおもしろいという、物語の展開を読み取る力が必要になる。本教材は、時と場面によって場面が分けられるので、じいさまの行動を中心に読み進めさせたい。またいくつかの昔話に親しみ、友だちに紹介する本を選ぶことを通して、児童が主体的に読書の幅を広げることができるようにしたい。

(3) 指導観

児童は共に言葉の理解が不十分で注意の集中が持続しにくく、友だちとの活動も支援を要する場合が多いが、視覚的な認知力は高く発表したいという意欲は旺盛である。そこで「かさこじぞう」を教材にしながら、二人で活動する場を設定することで、お互いに信頼感を持ち、相手からの働きかけを受け止めながら楽しく「かさこじぞう」を読めるようにする。そして、通常の学級で、自信をもって活動できるようにしていきたい。

楽しく読むためには、「誰が(何が)どうなった」のか、展開のおもしろさを考えながら読み、児童の興味関心を高め持続させて、内容を理解させることが必要と考える。そして、いろいろな昔話にふれ、自分が見つけた昔話のおもしろさを伝えることができるようにさせたい。

そのために活動内容や目標を始めに知らせ、見通しをもって活動できるようにする。内容を理解させるために、場面絵やペープサート、実物等を活用した動作化をして想像をふくらませて読み進め、児童をひきつけて最後まで活動できるようにさせる。また時や場所を表す言葉やおもしろい会話文を提示して内容を整理し、見通しをもって読み進めることができるようにする。さらに友だちの意見を聞いたり、分からない時は教えてもらったりしながらお互いの意見をつなげ、読みを深めて、昔話の楽しさを味わわせたい。

(4) 児童の実態と個別目標

児童	単元における実態	単元における個別指導目標
A児	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の理解は不十分だが、場面絵や言葉の補充で場面の様子を想像することができる。 ・文を正しく読むことは苦手だが、大きな声ではっきり読むことができる。 ・待つことは苦手だが、友だちが好きでコミュニケーション意欲は旺盛である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して最後まで活動することができる。 ・語彙や文法を理解し内容のあらましを理解することができる。 ・昔話のおもしろいところを見つけ、友だちに伝えることができる。
B児	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉は理解しているが、文を組み立て表出することや考えを言葉にすることが苦手である。 ・視覚的な手立てを活用したり、リズムを 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した気持ちで読んだり話したりすることができる。 ・主語と述語の照応に注意して人物がしたことを理解することができる。

活用したりすると、人物になりきって会話を讀んだり、考えをまとめたりできる。	・安定した気持ちで讀んだり話したりすることができる。
---------------------------------------	----------------------------

4 指導計画（10時間扱い）○は本時
第1次 学習の見通しを立てる。

・・・2時間

次	時	学 習 内 容	評 価 の 観 点		評 価 規 準 ○は自立活動	
			関 読 言		A児	B児
2	③	場面分けをし、内容の大体をとらえる。		◎	○安心して最後まで活動している。 ◎場面絵等を活用しながら場面分けをしている。 ◎好きな場面の会話を正しく音読している。 (観察・発表)	○安定した気持ちで讀んだり話したりしている。 ◎場面分けをし内容の大体をとらえている。 (観察・発表)
	4	じいさまとばあさまの暮らしぶりや二人の気持ちを思い浮かべながら読む。		◎	○安心して最後まで活動している。 ◎じいさまとばあさまの暮らしぶりを思い浮かべて読んでいる。 (観察・発表)	○主語と述語の照応に注意して人物がしたことを理解している。 ◎じいさまとばあさまの暮らしぶりを思い浮かべながら読んでいる。 (観察・発表)
	5	かさこを売りに行ったじいさまの様子を読み取る。		◎	○安心して最後まで活動している。 ◎にぎわう大年の市の様子やじいさまの気持ちを思い浮かべ読んでいる。 (観察・発表)	○主語と述語の照応に注意して人物がしたことを理解している。 ◎にぎわう大年の市の様子やじいさまの気持ちを思い浮かべ読んでいる。 (観察・発表)
	6	じいさまが地蔵様にしたこととその時の様子を読み取る。		◎	○安心して最後まで活動している。 ◎じいさまが地蔵様にしたことを読み取っている。 (観察・発表)	○主語と述語の照応に注意して人物がしたことを理解している。 ◎じいさまが地蔵様にしたことを読み取って家に向かうじいさまの気持ちを想像している。 (観察・発表)
	7	家に帰ったじいさまとばあさまの様子や気持ちを読み取る。		◎	○安心して最後まで活動している。 ◎家に帰ったじいさまとばあさまの様子を思い浮かべて読んでいる。 (観察・発表)	○主語と述語の照応に注意して人物がしたことを理解することができる。 ◎家に帰ったじいさまとばあさまの様子を思い浮かべて読んでいる。 (観察・発表)
	8	地蔵様がやってきた時のじいさまとばあさまの気持ちを想像する。		◎	○安心して最後まで活動している。 ◎地蔵様がやってきた時の様子を想像している。 (観察・発表)	○安定した気持ちで讀んだり話したりしている。 ◎地蔵様がやってきた時の様子を想像している。 (観察・発表)
	9	じいさまとばあさまの行動を中心に、おもしろさを見つけカードに書いて伝える。		◎	○語彙や文法を理解し内容のあらましを理解している。 ◎おもしろいところを見つけ伝えていく。 (観察・発表)	○語彙や文法を理解し内容のあらましを理解している。 ◎おもしろいところを見つけカードに書いて伝えていく。 (観察・発表・カード)

第3次 これまでに讀んだ昔話のおもしろいところを紹介しカードに書き、紹介し合おう。

・・・1時間

5 本時の指導

(1) 目標

- ア 全体目標 「かさこじぞう」を五つの場面に分け、内容の大体をとらえることができる。
- イ 個別目標


A児	<ul style="list-style-type: none"> ・場面絵を活用して「かさこじぞう」を五つの場面に分け、好きな場面の音読をすることができる。 ・約束を守って安心して最後まで活動することができる。
B児	<ul style="list-style-type: none"> ・場面絵を活用して「かさこじぞう」を五つの場面に分け、内容の大体をとらえることができる。 ・音楽や視覚的手立てを活用して安定した気持ちで読んだり話したりすることができる。

(2) 準備・資料

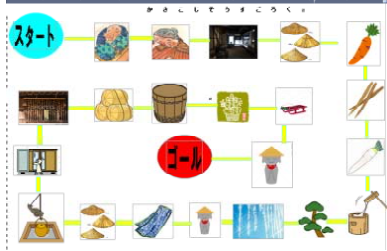
場面絵、登場人物やうさぎとかめのペープサート、文字・絵カード、じぞうさまや昔の道具の模型、ボイスレコーダー、かさこじぞう双六、さいころ、こま

(3) 展開

(評) 評価

配時	学習内容及び活動	ユニバーサルデザインの視点からの支援及び留意点・評価 (□ひきつける ○見通す ◇つなげる)		
		全体	A児	B児
3	1 始まりの挨拶をし、活動内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 1 絵並べ 2 話し合い 3 音読 4 すごろく </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に挨拶できるよう見守る。 ○活動内容は掲示し見通しがもてるようにする。 ○目標はカードで選択させ、明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・元気に挨拶ができたなら称賛する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いつもと違う雰囲気なので安心して取り組めるよう周りを確認してよいと声をかける。
2	2 学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> 場面絵を並べて、好きな場面を選ぼう。 </div>			
15	3 場面絵を並べる。 (1) 5の場面の音楽を聴く。 (2) 協力して場面絵を並べる。 (3) 場面絵を見て、誰がどうしたかを話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> □場面絵を提示しながら音楽を流し場面を想像できるようにする。 ◇5の場面絵を掲示し、お互いの意見を認めながら1～4の場面絵を並べるようにする。 □場面絵と時や場所を表す言葉、会話文から誰がどうしたか話し合えるようにする。 □会話文掲示後、絵カードを貼り誰が話したか明確にする。 ◇児童の言いたいことを教科書の言葉に置き換えたり焦点化したりして明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちが発表している時は最後まで聞くことを確認する。 ・協力してできた時は称賛し意欲を図る。 ・文字カードを読みながら貼り、書いてある内容が理解できるようにする。 ・言いたいことに共感し、言葉を補い意欲の継続を図る。 <p>(評)場面絵や会話文を手がかりに場面分けをしている。 (発表・観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽を聞いてリラックスできるようにする。 ・協力してできた時は称賛し自信をもたせる。 ・途中で言葉につまっても最後まで待ち、安心できる環境を作る。 <p>(評)場面絵や会話文を手がかりに内容の大体をとらえている。 (発表・観察)</p>
10	4 好きな場面を音読する。 (1) 好きな場面を選ぶ。 (2) 好きな場面の会話文を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> ◇上手に音読できた時は拍手をして称賛し合うことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> (評)好きな場面の会話文を正しく音読している。 (発表) 	<ul style="list-style-type: none"> ・かめさん、うさぎさんカードを提示し安定した気持ちで音読できるようにする。

- 10 5 かさこじぞう双六を行う。
 (1) ルールと順番を確認する。
 (2) 順番にカルタを行う。



- 4 6 振り返りをする。
 1 7 次時の予定を知り，終わりの挨拶をする。

□物語の語句の名前を言う双六を行い昔話への理解を深められるようにする。
 ◇分からない時は「教えて」と言って，と教えてもらうことや，負けても最後まで仲良く活動することを確認する。

- ・何をがんばったか，目標が達成できたか確認する。

- ・勝ち負けにこだわらず最後までがんばるよう励ます。
- ・勝ち負けにこだわらず最後までできた時は称賛する。

- ・最後まで取り組めた時は称賛する。

(評)好きな場面を選び安定した気持ちで音読している。(発表)
 ・安定した気持ちで話ができる場を設定する。

- ・安定した気持ちで読んだり話したりできたか確認する。